



2011年10月25日

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

日本経済新聞にDACの取り組みが掲載されました

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅、以下 DAC)は、売り手と買い手を自動的にマッチングさせる広告取引システム、リアルタイムビidding(以下 RTB)を活用したディスプレイ広告市場(マーケットプレイス)の形成など、新しい広告取引プラットフォームの開発にグループを通して注力してまいりました。

今回、本年2月より独占提携している IponWeb Holdings Ltd.(本社:キプロス、CEO: ボリス・ムーズカントスキー)の最適化配信テクノロジーと、本年9月に資本参加した株式会社 ALBERT(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:上村崇、以下 ALBERT)のレコメンデーションエンジンという2つのテクノロジーを掛け合わせ、広告主・広告会社が自ら広告配信を行う(以下、第三者配信)次世代型広告配信プラットフォーム「i-Effect」を開発し、11月より提供を開始することとなりました。

上記の取り組みが本日の日本経済新聞に掲載されました。

【掲載】

・2011年10月25日付 日本経済新聞

『閲覧者ごとに広告配信 博報堂系DAC 時間別にも対応』

※詳細は、当社のコーポレートサイトに掲載しておりますリリースをご参照ください。

- ・次世代広告配信プラットフォーム「i-Effect」を提供
http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/201110_i-Effect.pdf
- ・DAC、ALBERT(アルベルト)に資本参加
http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/201110_ALBERT.pdf

以 上